

あなたがあなたで あるために

V データが消せない！

彩乃は大学 2 年生です。大学ではインターネットを使った仕事のやり方について勉強しています。ある日、「情報と社会」という授業の中で先生に、「自分の名前を使ってグーグルで検索してごらん」と言われたので、やってみました。すると、中学生の時に作ったプロフィールが出てきました。このプロフィールはケータイを使って作ったので、まさかパソコンで見れるとは思ってもみませんでした。

あらためてプロフィールを読んで、彩乃は顔が赤くなりました。その内容があまりに子供っぽくて、バカバカしくて恥ずかしいと思ったからです。思わず「やだー」と言ったところ、友人がまわりから彩乃のパソコンの画面をのぞきこんできました。彩乃は思わず画面を手で隠しました。

「私の名前で検索すれば、誰でもこのプロフィールを見ることができる」ということに気がついた彩乃は、あせりました。早くこのプロフィールを消さなければと思いましたが、プロフィールサイトにアクセスするために使っていた、中学生のときのケータイメールアドレスと、パスワードをどうしても思い出すことができません。今の彩乃なら絶対に書かないことがいつまでもインターネットに残り続けることに、そして誰もがそれを簡単に見つけ出せることに、彩乃は困りはててしまいました。

ワークシート V

あなたは大学 1 年生で、中学 1 年生の時からインターネットを使っていたとしましょう。かつて使っていたケータイやパソコンのメールアドレス、インターネットのサイトで使う ID、パスワードのすべてをすぐに思い出せるわけではありません。たとえば、中学入学のときから使っていて、高校 2 年生で使うのをやめ、そのままにしてあるプロフィールの ID やパスワードはまったくわからなくなってしまっています。高校生になって使い始め、最初は熱中していたものの、すぐにあきて使うのを辞めてしまったツイッターの ID として使っていたメールアドレスも、ツイッターを使うためだけに設定した無料メールアドレスなので、どうしても思い出すことができません。

考える前に

(1) 自分がこれまでに使ったことのあるメールアドレス、インターネットのサイトで使う ID、パスワードをすべて思い出してみてください（書き出しても、声に出してもいけません！）。すべて思い出せるでしょうか？

(2) もしあなたがプロフやツイッターを使うとすれば、どのようなことを書いたり、どのような写真をアップしたりしたいでしょうか。書き出してみてください。すでにプロフやツイッターを使っている人は、どのようなことを書いたり、どのような写真をアップしたりしているかを書いてください。

考えてみましょう

1. 消すことのできなくなったプロフには、中学生のときの自分の姿として感じたことがそのまま書かれています。これは、今のあなたのデジタルアイデンティティにどのように影響するでしょうか？

2. あなたはツイッターの利用をやめてしまいましたが、あなたが高校 1 年生の最初の半年に毎日のように書いていた「つぶやき」やアップした写真は、今でも誰も見ることができます。しかもそれらを消すことができません。このことは、今のあなたのデジタルアイデンティティにどのように影響するでしょうか？